

清流の辺

令和5年12月22日
丹波中学校 学校だより
校長 古屋 修宏

二学期を終えて

12月22日(金)、二学期の終業式が行われました。

暑い8月から、本格的な冬を迎えた12月まで、丹波中生は、様々な活動を重ねてきました。楽しいことも、苦しいこともあったと思います。そうした経験に無駄はなく、生徒がこれから生きるうえでの糧となることを願っています。

二学期の体育の授業に持久走がありました。山口先生の指導のもと、生徒たちはトラックの周回を重ねていきます。校庭のあちこちに、「自分のペースでいいよ!」「その調子、一步一步!」

「競走じゃないよ。マイペース!」と声援が響きます。中学校生活も、「自分のペースで、一步一步」が大切だと考えます。私たち教職員は、生徒の隣を走る伴走者として、生徒と同じ方向を向き、同じ目の高さで、リードしていきます。



二学期終業式

情報の授業

12月14日(木)、情報の授業が行われました。講師を務めてくださったのは、本校のICT支援員 小宮山先生です。

生徒たちは、小宮山先生の指導のもと、「マイクロビット」という機器にプログラミング(命令)を入力していきます。すると、マイクロビットは、生徒が命令した音や光を出し、プログラムどおりに動きます。自分のプログラムどおり動く「マイクロビット」を、生徒たちはとても興味深く見守っていました。「情報」の授業は、近年、ますます重要視されています。小宮山先生、ありがとうございました。



プログラミングに取り組む生徒

生徒会役員選挙

12月13日(水)、令和6年度の生徒会役員を決める選挙が行われました。その結果、令和6年度の生徒会長・副会長が決まりました。

立会演説会では、令和6年度の丹波中学校をこのような学校にしたいという、候補者たちの思いが伝えられました。

私たち教職員は、「学校の主人公は生徒」の考えに基づき、新会長・新副会長の公約の具現化を応援していきます。



立会演説会の様子